

県遭対第13号
令和7年11月27日

新潟県山岳遭難防止対策協議会員様
市町村山岳担当課長様

新潟県山岳遭難防止対策協議会
会長 鈴木 康之
(新潟県副知事)

クマによるものと思われる登山者死亡事案に関する
注意喚起について（依頼）

日頃、本県の山岳遭難防止対策に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

県内では、クマの出没が継続している状況を踏まえ、警戒レベルを維持・継続する必要があることから、令和7年10月6日に発表した「クマ出没特別警報」に基づく「クマ出没警戒強化期間」を2か月延長し、最大級の警戒を継続して呼びかけております。

このたび、飯豊連峰胎内口登山道（胎内市）において、11月23日から登山中に行方不明となっていた男性とみられる遺体が、25日に登山道付近で発見されました。現場周辺ではクマが目撃されており、クマによる被害の可能性が高いとみられています。

つきましては、関係機関・団体に対し、人身被害防止のため、改めて一層の注意喚起を実施いただきますようお願ひいたします。

【被害概要】

発見日時：11月25日 午前9時30分頃

発見場所：飯豊連峰 胎内市側登山口から約1.2km地点、登山道付近

死 亡 者：男性1名

状 況：顔や首などに引っかき傷や噛まれたような損傷があるほか、発見当時に近くでクマ1頭が目撃されていた。

担当：新潟県山岳遭難防止対策協議会事務局
(新潟県観光文化スポーツ部スポーツ課) 富樫
TEL：025-280-5951 FAX：025-280-5276
メール：ngt150040@pref.niigata.lg.jp